



NX-B55 取扱説明書

BLUETOOTH スピーカーシステム



本機でできること

– さまざまなコンテンツを高音質で再生

Bluetoothによるワイヤレス再生、AUDIO IN端子へのケーブル接続で携帯電話、パソコン、ポータブルプレイヤーなどのさまざまな外部機器と接続できます。

– オートスタンバイ

本機への音声入力が一定時間ない場合、自動的にスタンバイになります。パワーオン・オフの操作を毎回行う必要がないため、無駄な電力消費を抑えます。

– ラウドネスコントロール

小さな音量でも、豊かな低音感で音楽をお楽しみいただけます。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用の前に必ずお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、保証書と共に使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という禁止を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。



この表示の欄は、「死亡する可能性または重症を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

必ず実行



下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
●異常ににおいや音がある。
●煙が出る。
●内部に水や異物が混入した。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



電源コードを傷つけない。
●重いものを上に載せない。
●ステーべルで止めない。
●加工をしない。
●熱器具には近づけない。
●無理な力を加えない。

芯線がむき出しだままで使用すると、火災や感電の原因になります。



電源電圧（100 V）で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行



本機を完全に主電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

必ず実行

設置



本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 雨や雪、水がかかるところ
- 加湿器を過度にきかせた部屋

水の混入により、火災や感電の原因になります。



放熱のため、本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込みない。(本機の周囲に左右5cm、上5cm、背面5cm以上のスペースを確保する。)
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



あおむけや横倒しには設置しない。

故障やけがの原因となります。

禁
止



医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。

電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

禁
止



心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm 以上離して使用ください。

必ず実行

ベースメーカーに影響を与え重大事故につながる場合があります。

使用上のご注意



雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

接觸禁止



本機を落としたり、本機が破損したりした場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行



本機の上には、花瓶・植木鉢・カップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

- 水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

- 火災や感電の原因になります。
- 修理および調整は販売店にご依頼ください。

お手入れ



電源プラグのゴミやほこりは、定期的に取り除く。

ほこりがたまつたまま使用を続けると、プラグや金属部がショートして火災や感電の原因になります。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

禁
止



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

必ず実行



差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

禁
止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。



付属のACアダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。



ACアダプターは、布や布団でおおったり、つんなりしない。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。



禁止



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



禁止



不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止



直射日光の当たる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばや車内など）には設置しない。
外装の変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



必ず実行



使用上のご注意

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



必ず実行



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときは、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



注意

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

必ず実行

移動するときは、本機の電源コードを外す。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
プラグを抜く

必ず実行

お手入れのしかた

キヤビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。
隣近所への配慮を十分にしましょう。

静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思ぬところに迷惑をかけてしまいます。
適当な音量を心がけ、窓を開めてご使用になるのも一つの方法です。

音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ブラウン管を使用したディスプレイの近くでご使用になり万一色ムラや雑音などが生じるときは、本機とディスプレイの距離を離してご使用ください。

ご使用上の注意

ご使用になる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 必ず本機専用のACアダプターをご使用ください。
他の電源アダプターの使用による損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本機のつまみ類に無理な力を加えたり、キャビネットに重い物をのせないでください。
- テストディスクや電子楽器の信号、極端に歪んだ信号を大きな音で鳴らさないでください。スピーカーの破損の原因となります。
- パソコンのモニターやテレビの近くに設置すると、画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。
- フロッピーディスクやカセットテープなどの磁気媒体を近くに置かないでください。データが破損することがあります。
- 故障と思われるときはすぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。

目次

各部の名称と機能	1
AUTO STANDBY	3
接続	4
Bluetooth接続と再生	5
困ったときは	8
インジケータ(LED)	11
仕様	11

付属品の確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

- ACアダプター
- 3.5mmステレオミニプラグケーブル(2.0m)

各部の名称と機能

① ヘッドホン端子 (3.5 mm ステレオミニジャック)

ヘッドホンを使用するときに接続します。



ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーから音は出ません。

ご注意

聴覚の保護のためにヘッドホンをご使用になるときは、音量にご注意ください。

- ・大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になる場合があります。
- ・ヘッドホンを接続する前に、オーディオ機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

② VOL (ボリューム) コントロール

左右のスピーカー及びヘッドホンの音量を調整します。

右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

ラウドネスコントロール

本機は小さな音量でも、豊かな低音感で音楽を楽しめるラウドネスコントロールを搭載しております。

本機の出力レベルに連動して最適な聴感補正を自動的に行います。

出力音声レベルは下記のように調節してください。

- 1 外部機器に接続したら、本機の電源を入れて VOL (ボリューム) コントロールを時計の 2 時の位置（下図）に合わせます。



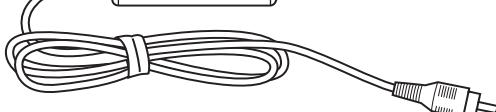
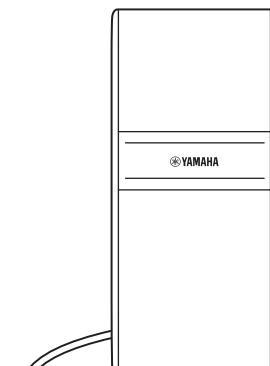
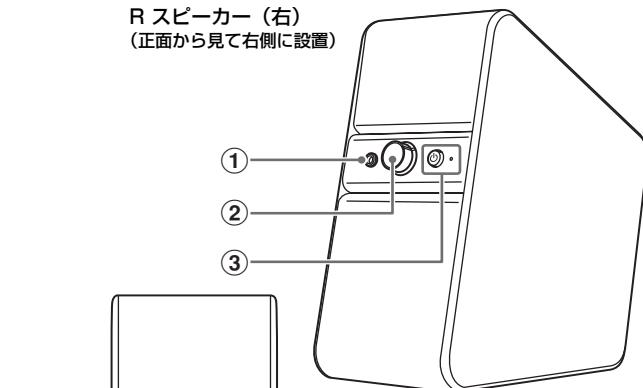
- 2 外部機器の音量調整（ボリュームコントロールなど）を、音が割れたり歪まないように一番大きな音が出るよう調節します。

外部機器の操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- 3 本機の VOL (ボリューム) コントロールを回して、普段使う音量に調節してください。

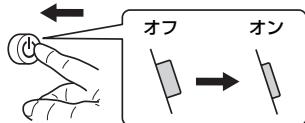
前面パネル

R スピーカー（右）
(正面から見て右側に設置)

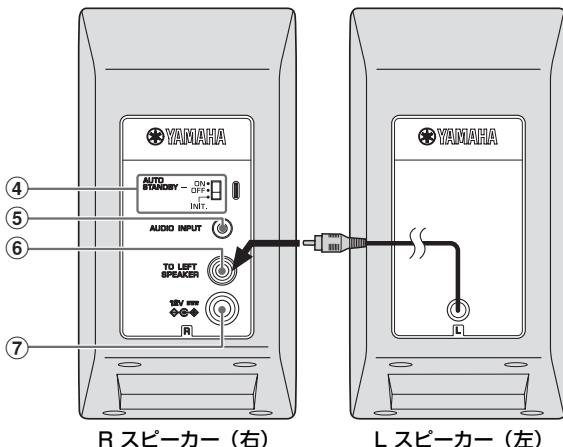


L スピーカー（左）
(正面から見て左側に設置)

① (パワー) を横から見ると …。



背面パネル



③ (パワー) / インジケータ (LED)

(パワー) を押すと、本機の電源が入り、インジケータが点灯します。

ご注意

本機の電源がオフまたはスタンバイ状態でも、少量の電力を消費しています。

オートスタンバイ

④ AUTO STANDBY スイッチ

- **ON** : オートスタンバイを有効にする。
(お買い上げ時の設定：**ON**。 (☞ 3 ページ))
- **OFF** : オートスタンバイを無効にする。(☞ 3 ページ)
- **INIT.** : Bluetoothペアリング情報を初期化する。(☞ 7 ページ)

オーディオインプット

⑤ AUDIO INPUT (入力端子)

付属の 3.5mm ステレオミニプラグケーブルを使用して、ポータブルプレーヤー、パソコン、テレビなどの外部機器を接続します。

おまかせミックス

Bluetooth接続で音楽を再生している間に、AUDIO INPUTで音楽を再生すると、音声がミックスされてスピーカーまたはヘッドホンから出力されます。例えば、テレビのニュースを聞きながらポータブルプレーヤーの音楽をミックスして流すことも可能です。

トゥ レフト スピーカー

⑥ TO LEFT SPEAKER

Lスピーカー（左）から出ているケーブルをこの端子と接続します。

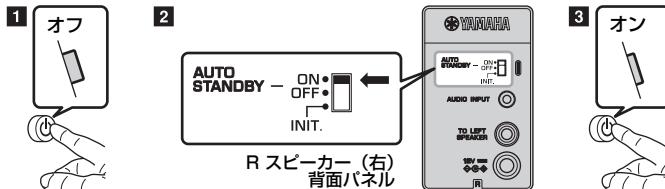
⑦ 12V (DC 12V)

必ず付属の AC アダプターを接続してください。

AUTO STANDBY

本機はパワーオン状態のときに、接続した外部機器から信号の入力が無かったり、もしくはごく小音量で一定時間（約 30 分間）機器の再生が続いた場合、自動的にスタンバイモード（省電力モード）になる機能を備えています。スタンバイモード時、インジケータは消灯します。

オートスタンバイを有効にする



- ① ⏪ (パワー) を押し、本機の電源を切れます。（パワーオフ）
- ② AUTO STANDBY スイッチを ON にします。
- ③ ⏪ (パワー) を押し、本機の電源を入れます。

ご注意

- ・オートスタンバイは、パワーオン時に機能します。
- ・スタンバイモードになるまでの時間は目安です。使用状況により異なります。

オートパワーオン



スタンバイモード時に接続機器を再生すると…

スタンバイモードでは、信号の入力があつた場合、本機は自動的に電源が入り、音声がスピーカーから出力されます。（オートパワーオン）

ご注意

- ・接続した機器の音量が小さいと、本機が起動しない場合があります。そのようなときは接続した機器の音量を上げてください。
- ・携帯電話など電波を発生する機器が近くにある場合は、通話や着信時のノイズによって本機が起動したり、スタンバイモードにならない場合があります。

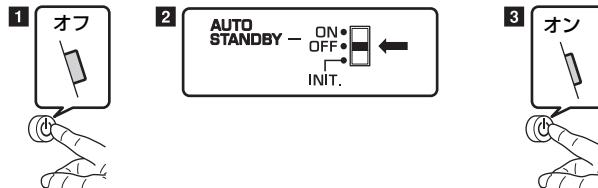
オートスタンバイ機能を無効にする

ご使用中に本機がスタンバイモードに移行してしまう場合は、下記 [A] または [B] の手順をお試しください。

- [A] ボリュームを調節します。

- ① 接続した機器のボリュームを少し上げてください。
- ② 本機の VOL (ボリューム) コントロールを回し、最適な音量に調整してお楽しみください。

- [B] AUTO STANDBY スイッチを OFF にします。

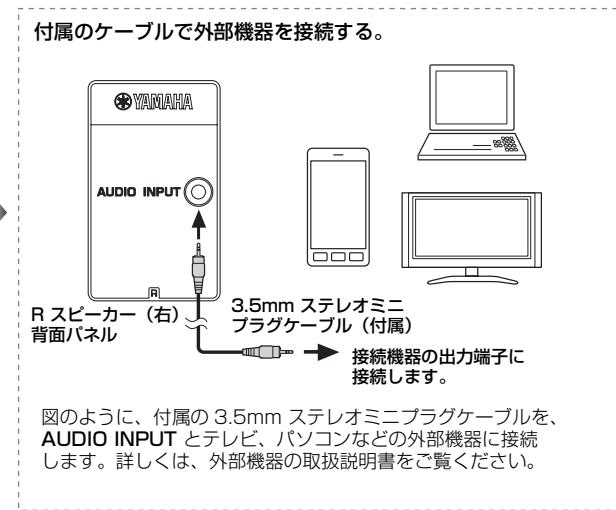
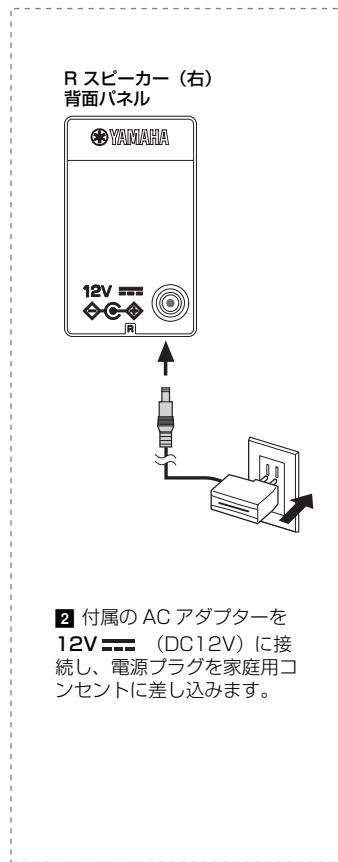
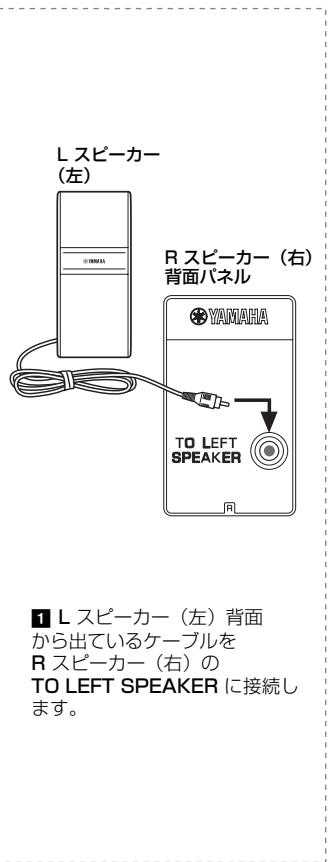


- ① ⏪ (パワー) を押し、本機の電源を切れます。
- ② 背面の AUTO STANDBY スイッチを OFF にします。
- ③ ⏪ (パワー) を押し、本機の電源を入れます。

ご注意

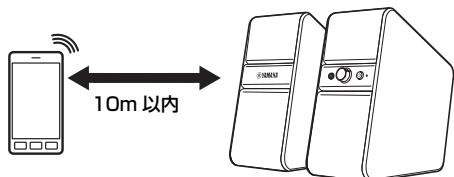
- ・お買い上げ時、AUTO STANDBY スイッチは ON になっています。
- ・本機を長時間使用しない場合は、⏪ (パワー) を押し、パワーオフしてください。
- ・オートスタンバイを再び有効にするには、背面パネルの AUTO STANDBY スイッチを ON してください。

接続



Bluetooth 接続と再生

本機と Bluetooth 機器（携帯電話、パソコン、ポータブルプレーヤーなど）をペアリング（登録）し、接続すると、ワイヤレスで音楽再生をお楽しみいただけます。

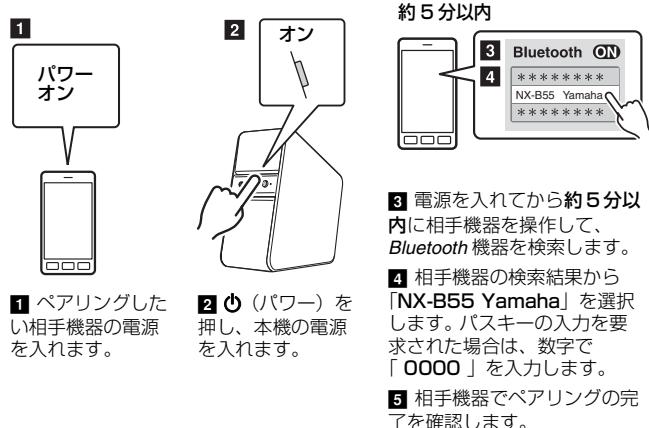


ご注意

- ・ 安定した場所に設置してください。
- ・ 鉄板などの金属板の上には置かないでください。
- ・ 本機を布などで覆わないでください。
- ・ 通信を行う機器（Bluetooth プロファイル A2DP に対応した携帯音楽プレーヤーや携帯電話など）と同じ部屋で、直線見通し距離が 10 m 以内の場所に設置してください。
- ・ Bluetooth 機器と本機との間に障害物が無いか確認してください。

ペアリング（登録）

初めて Bluetooth 接続するときや、ペアリング情報が削除されたときは、ペアリングを行う必要があります。本機とペアリングができるのはパワーオンから約 5 分以内です。

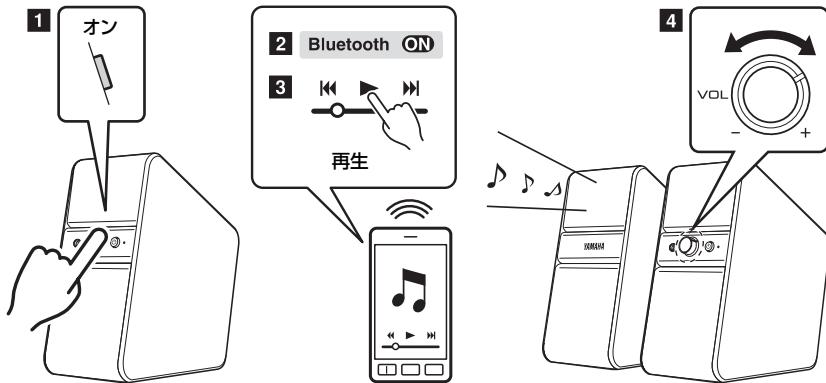


♪ ペアリングとは …

通信を行う機器（以下「相手機器」）を本機に登録する操作です。左の手順に従ってペアリングしてください。

ご注意

- ・ 相手機器でペアリングが完了していることを確認してください。ペアリングが成功しなかった場合は、手順 ② から操作をやり直してください。詳しくは、相手機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ ペアリング中に本機への電源供給が断たれるとペアリング情報が破棄されることがあります。その場合は、「すべてのペアリング情報の削除」の手順を行った後で再度ペアリングしてください。（☞ 7 ページ）
- ・ 本機は最大 8 台の相手機器とペアリングできます。9 台目の相手とのペアリングが成功すると、接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が削除されます。

Bluetooth接続で音楽を再生する**自動接続**

最後に接続した機器が接続可能な状態である場合、本機と相手機器は自動的に接続します。

ご注意

- 相手機器によっては自動接続できない場合もあります。
- 自動接続ができない場合は、相手機器で接続操作を行ってください。

- 1** Ⓛ (パワー) を押し、本機の電源を入れます。
- 2** ペアリングした相手機器を操作し、Bluetooth接続します。
Bluetooth接続が完了すると、インジケーターが青色に点灯します。
- 3** 相手機器の再生を開始します。
- 4** 本機のVOL (ボリューム) コントロールで音量を調整します。

機器によってはペアリングと同時に接続されます。その場合、手順**1**と**2**は不要です。

Bluetooth接続の切断

下記の手順**A**または**B**を行うと、Bluetooth接続が切断されます。

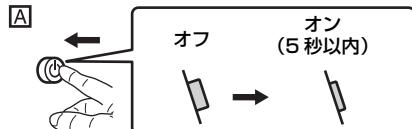
- A** Ⓛ (パワー) を押し、本機の電源を切れます。
- B** 相手機器のBluetooth機能をオフにします。

Bluetooth 接続と再生

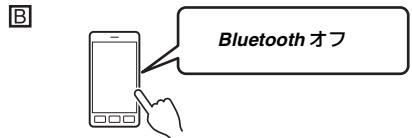
Bluetooth 機器を切り換える

本機が同時に Bluetooth 接続できる相手機器は 1 台のみです。接続中の相手機器を切り換えたい場合は、下記の手順を行ってください。

- 1 下記の手順 A または B を行ってください。



- ① ⓪ (パワー) を押し、本機の電源を切ります。その後、5秒以内に
② ⓪ (パワー) を押して電源を入れてください。



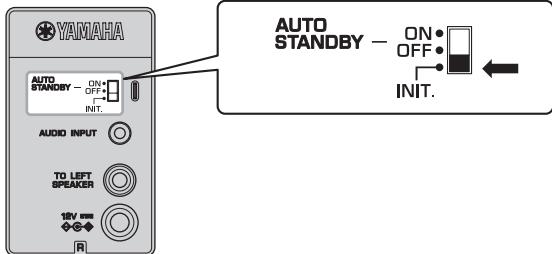
接続済みの相手機器を操作して、Bluetooth 接続を切断します。

- 2 切り換えたい相手機器を操作して Bluetooth 接続をします。
初めて接続する相手機器の場合は、約 5 分以内にペアリングを行ってください。



本機の電源を再度入れてから約 5 分以上経つと、自動接続により本機が最後に接続した機器と自動的に再接続することがあります。その場合は、手順 1 を再度行ってください。

すべてのペアリング情報の削除



- 1 ⓪ (パワー) を押し、本機の電源を切ります。
- 2 背面の AUTO STANDBY スイッチを INIT. にします。
- 3 ⓪ (パワー) を押し、本機の電源を入れた後、約 3 秒待ちます。
本機のペアリング情報はすべて削除されます。
- 4 ⓪ (パワー) を押し、本機の電源を切ります。
- 5 背面の AUTO STANDBY スイッチを元の位置に戻します。
(ON : お買い上げ時の設定)

困ったときは

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

■一般

症状	原因	処置
電源が入らない。	AC アダプターがコンセントまたは 12V (DC12V) から外れている。	AC アダプターをコンセントまたは 12V (DC12V) に正しく接続してください。
	⌚ (パワー) が入っていない。	⌚ (パワー) を入れてください。 (インジケータが点灯します。)
片方または両方から音が出ない。または、音が小さい。	本機と接続機器が正しく接続されていない。	正しく接続されていることを確認してください。
	本機の接続が正しくされていない。 (または接触が不完全)	正しく接続されていることを確認してください。または、 <i>Bluetooth</i> との接続を再度行ってください。
	本機のボリュームが小さすぎる。	VOL (ボリューム) コントロールを右に回して音量を上げてください。
	接続した機器の音量が小さすぎる。	接続した機器の音量を上げてください。
	ヘッドホンを接続している。(ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーから音は出ません。)	ヘッドホンを抜いてください。
	背面の AUTO STANDBY スイッチが INIT. の位置にある。	背面の AUTO STANDBY スイッチを ON または OFF の位置にしてください。 (お買い上げ時の設定： ON 、 3 ページ)
音が割れる。	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げてください。

困ったときは

症状	原因	処置
ノイズが出る。	接続が正しくされていない。(または接触が不完全)	正しく接続されていることを確認してください。
	端子部分の接触が不良。	ステレオミニジャックとステレオミニプラグケーブルが汚れていないか確認してください。汚れている場合は汚れを取ってください。
	外部のノイズをひろってしまう。	携帯電話や無線機器、電子レンジやインバーター式の照明機器などに近づけている場合は、離してみてください。
	電源ノイズをひろってしまう。	AC アダプターを壁のコンセントに直接差し込むなど、電源の取り口を換えてみてください。
音が出ない。	オートスタンバイが機能した。	接続機器の音量を上げるか、本機の  (パワー) を 2 回押して電源を入れ直してください。 (「オートスタンバイ機能を無効にする」☞ 3 ページ)
オートスタンバイが機能しない。	AUTO STANDBY スイッチが OFF になっている。	AUTO STANDBY スイッチを ON にしてください。
	外部のノイズを拾う。	本機が携帯電話、無線機器、電子レンジ、蛍光灯などの近くにある場合は、本機を離してください。
オートパワーオンが機能しない。	相手機器の音量が小さい。	相手機器の音量を上げてください。
	再生した音声が短い。	クリック音などの短い音声の再生ではパワーオンしません。
本機とテレビをオーディオケーブルで接続したにもかかわらず、テレビから音が出る。	テレビの設定が適切でない。	テレビの設定を変えてください。

■ Bluetooth

症状	原因	処置
本機と相手機器がペアリングまたは接続できない。	本機の電源を入れた後または相手機器との <i>Bluetooth</i> 接続を切斷してから約 5 分以内に相手機器と接続ができます。	「ペアリング（登録）」をご覧ください。 (☞ 5 ページ)
	相手機器が A2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。
	<i>Bluetooth</i> アダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外である。	パスキーが「0000」の <i>Bluetooth</i> アダプターなどの機器をご使用ください。
	距離が離れすぎている。	本機を相手機器から 10 m 以内に設置してください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線 LAN 機器など）がそばにある。	本機を離して設置してください。
	すでに他の機器と接続している。	他の <i>Bluetooth</i> 接続を切断してください。
	iPhone、iPad、iPod touch はペアリングした最近の機器を記憶し、その同じ機器と再び接続を試みるため、本機を初期化した場合、本機は別の機器と認識される。	iPhone、iPad、iPod touch から本機とのペアリング履歴を削除し、再度本機とペアリングしてください。 (「ペアリング（登録）」☞ 5 ページ)
音が出ない、または音が途切れる。	本機と相手機器との <i>Bluetooth</i> 接続が途切れた。	<i>Bluetooth</i> 接続を行ってください。 (「 <i>Bluetooth</i> 接続で音楽を再生する」☞ 6 ページ)
	距離が離れすぎている。	本機を相手機器から 10 m 以内に置いてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線 LAN 機器など）がそばにある。	本機を離して設置してください。
	相手機器の <i>Bluetooth</i> 機能が無効になっている。	相手機器の <i>Bluetooth</i> が正しく設定されていることを確認してください。
	本機が相手機器の <i>Bluetooth</i> 機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行ってください。
	相手機器が <i>Bluetooth</i> 信号を本機に送っていない。	相手機器の <i>Bluetooth</i> が正しく設定されていることを確認してください。
	相手機器の出力切替が本機に設定されていない。	相手機器の出力切替を本機に設定してください。
	相手機器の音量が小さすぎる。	相手機器の音量を上げてください。

* Ⓛ (パワー) を切っても VOL (ボリューム) が最大になっていると、ヘッドホンから小さな音が聞こえることがあります。

* iPad、iPhone、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

インジケータ (LED)

インジケータ (LED)	電源	Bluetooth	自動接続
消灯	パワーオフ / スタンバイ	—	—
緑 (点灯) 	パワーオン 	未接続	オン
緑 (数秒間点滅後、点灯) 			オフ ^{*1}
青 (点灯) 		接続済み	—
緑 青 緑 ... (早く点滅) *2			—

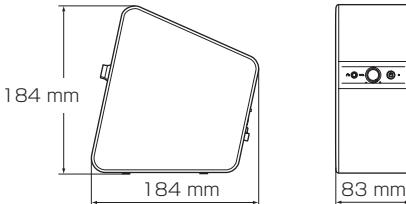
*1 「Bluetooth 機器を切り換える」(☞ 7 ページ) の手順にしたがって操作した場合、インジケータが緑色に数秒間点滅した後、約 5 分間は自動接続ができなくなります。

*2 「すべてのペアリング情報を削除する」(☞ 7 ページ) の手順にしたがい、すべてのペアリング情報を削除したとき。

仕様

Bluetooth バージョン	Ver. 2.1+EDR
対応プロファイル	A2DP
対応コーデック	SBC、AAC
無線出力	Bluetooth Class 2
最大通信距離	10 m (障害物が無いこと)
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式
入力端子	3.5mm ステレオミニジャック × 1
ヘッドホン出力端子	3.5mm ステレオミニジャック × 1
電源電圧／周波数	AC100V、50/60Hz
最大出力	7W+7W (6Ω, 1 kHz, 10% THD)
消費電力	13W スピーカー一本体
パワーオフ時の消費電力	0.5W 以下
AC アダプター	MU18-D120150-A1 (DC 12 V、1.5 A)
質量	
右スピーカー	1.1kg
左スピーカー	1.0 kg*
* ケーブル (2.0m) 含む	

外形寸法



仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ Bluetooth に関するご注意

Bluetoothについて

- Bluetoothとは、無許可で使用可能な2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIGの登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機の無線方式について



- | | | |
|-------|-------|---------------------------|
| 「2.4」 | | 2.4 GHz帯を使用する無線設備 |
| 「FH」 | | 変調方式は周波数ホッピング（FH-SS方式） |
| 「1」 | | 想定干渉距離が10 m以内 |
| | | 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可 |

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

- ヤマハお客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

 0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付:月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

- ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパートに関するお問い合わせ

- ヤマハ修理ご相談センター

 0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付:月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03)5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06)6465-0367

修理品お持ち込み窓口
受付:月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサルシティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

* 名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

* 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーコニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーコニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使われています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチリレー類、接続端子、ランプ、ベルト、
スピーカーラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

* このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



こんな症状はありませんか？

- 電源コード: プラグが異常に熱い。
- コケがくさい臭いがある。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。

なお、点検・修理にかかる費用は販売店にご相談ください。

